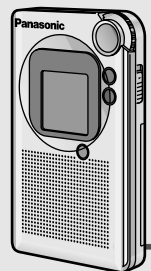


Panasonic

TV-FM-AM 3バンド レシーバー
TV-FM-AM 3-Band Receiver

取扱説明書
Operating Instructions

品番 RF-NS460R



お買い上げいただき、まことに
ありがとうございました。

この取扱説明書と保証書を
よくお読みのうえ、正しくお
使いください。そのあと保存
し、必要なときにお読みくだ
さい。

保証書は、「お買い上げ日・
販売店名」などの記入を必ず
確かめ、販売店からお受け取
りください。

保証書付き
上手に使う上手に節電

付属品
バッテリーチャージャースタンド
(品番 RFEB004G-1A)
ACアダプター
(品番 RFEA422J-S)
単4形ニッケル水素充電式電池 2本
(ケース付き)
キャリングケース
(品番 RFCT0012-K)
サービスルートでお買い求めただ
けです。かっこ内の品番で、お買
い上げの販売店へご相談ください。
充電式電池は別売り品でお買い求め
ください。(※3ページ「充電式電池
の買い替えは」参照)かっこ内の品
番と現品の品番表示とが異なる場
合がありますが仕様は同じです。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年	月	日	品番	RF-NS460R
販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. AVC Network Business Group
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505
© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2001
RQTT0437-S_F0701MA0

Panasonic
パナソニック音響製品保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した
場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことを
お約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

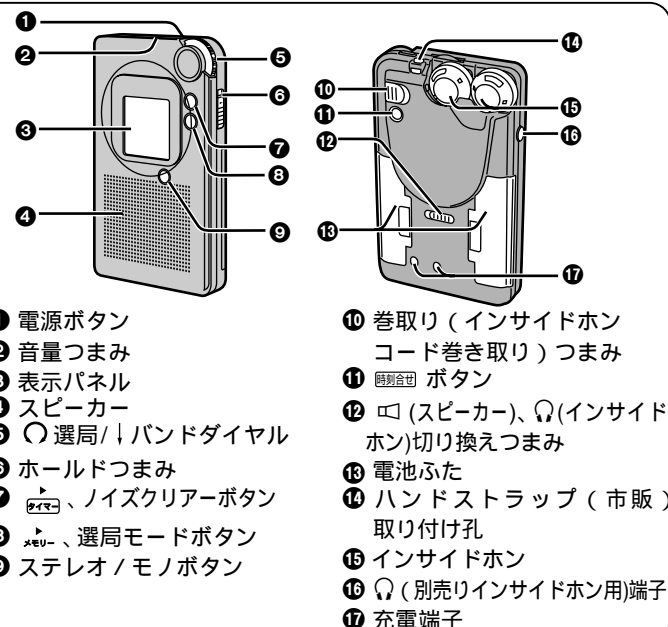
品番	RF-NS460R
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	名前 () 様
販売店	住所・日名 () 様
電話	() -

見本

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号 TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ 印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

各部のなまえ



- ① 電源ボタン
- ② 音量つまみ
- ③ 表示パネル
- ④ スピーカー
- ⑤ 選局/↓バンドダイヤル
- ⑥ ホールドつまみ
- ⑦ 選局/↑バンドダイヤル
- ⑧ ステレオ/モノボタン
- ⑨
- ⑩ 巻取り(インサイドホンコード巻き取り)つまみ
- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ 口(スピーカー)、Q(インサイドホン)切り換えつまみ
- ⑬ 電池ふた
- ⑭ ハンドストラップ(市販)取り付け孔
- ⑮ インサイドホン
- ⑯ Q(別売りインサイドホン用)端子
- ⑰ 充電端子

お知らせ

ボタンを押すと表示パネルが約5秒間明るくなり、暗いところで操作するのに便利です。

お願い

充電端子は金属で傷をつけたりショートさせないでください。

主な仕様

受信周波数:

バンド	Jステップ	9 kHz ステップ	10 kHz ステップ
AM	522-1629 kHz	522-1629 kHz	520 - 1710 kHz
FM	76.0-90.0 MHz	87.5-108.0 MHz	87.5 - 108.0 MHz
TV	1-12 ch	-	-

電池持続時間 (EIAJ):

バンド	インサイドホン使用時	スピーカー使用時
AM	34時間 30分	20時間
FM (TV 1-3 ch)	23時間	16時間
TV (4-12 ch)	21時間	14時間 30分

ナショナルネオ《黒》R03 使用時

バンド	インサイドホン使用時	スピーカー使用時
AM	28時間	14時間
FM (TV 1-3 ch)	17時間	10時間 30分
TV (4-12 ch)	15時間	9時間 30分

実用最大出力: 100 mW (EIAJ)
スピーカー: 2.8 cm 丸形 8
電源: DC 2.4 V (専用充電式電池 × 2本使用)
DC 3.0 V (単4形乾電池 × 2本使用)
最大外形寸法: 55.6 (W) × 91.5 (H) × 17.7 (D) mm (EIAJ)
本体寸法: 55.0 (W) × 91.0 (H) × 17.0 (D) mm
質量: 約 87 g (充電式電池含む)
約 64 g (充電式電池含まず)

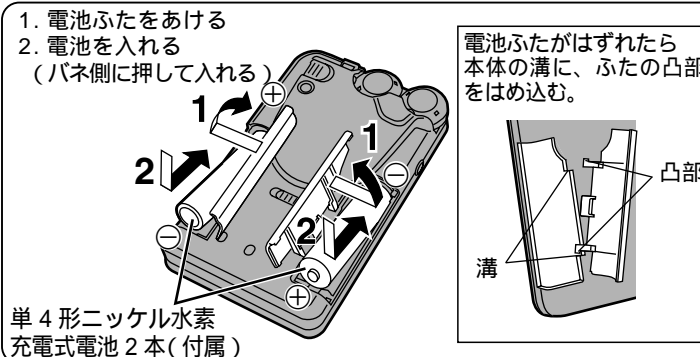
充電器:
バッテリーチャージャースタンド:
入力: DC 4.5 V、150 mA
出力: DC 3.5 V、130 mA
ACアダプター:
入力: AC 100 V、50/60 Hz、4 VA
出力: DC 4.5 V、200 mA

本体を置いていないときの充電器の消費電力: 2.0 W

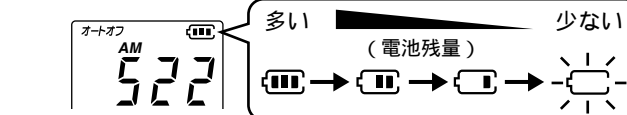
時計精度は室温において月差約1分です。
電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
本機で受信できるテレビ放送は、音声のみです。

電源の準備

電池を入れる



電池残量表示について
電源が「入」のときに表示します。「U01」表示になると電池が消耗しています。充電式電池は充電し、乾電池は交換してください。



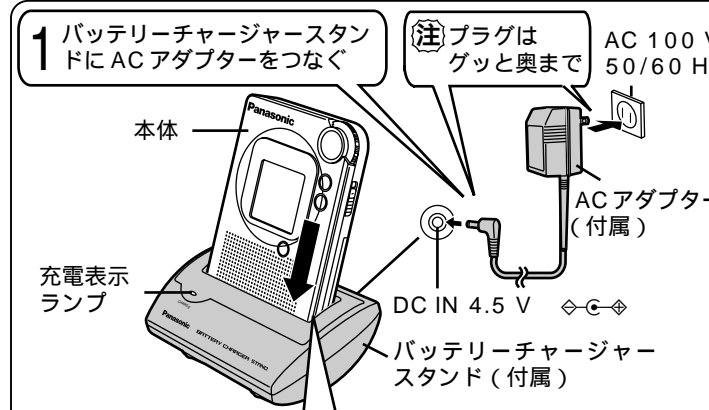
お知らせ

単4形乾電池も使用できます。
本機ではメモリー保護のため、電池の量がわずかに残った時点まで寿命としています。
電池の交換を3分以内に行くと、時計(※4ページ)や記憶させた情報を設定しなおす必要がありません。

充電する

充電所要時間は約6時間です。(本体の抜き差しや停電などで充電が約1分以上中断した場合は、その時点から約6時間となります。)

準備 付属の充電式電池を本体に入れる(※上記「電池を入れる」)



2 本体をまっすぐ立てて、バッテリーチャージャースタンドに差し込む(充電中はラジオ動作はしません)
約2秒後に充電表示ランプが点灯したことを確認する
充電所要時間: 約6時間(充電中は充電表示ランプが2秒間隔で点滅)
充電表示ランプが点灯したことを確認し、本体をスタンドから抜く

お知らせ

付属以外の充電式電池を充電することはできません。
長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。(本体を置いていない状態でもACアダプターが2.0 Wの電力を消費しています。)

お願い

付属のバッテリーチャージャースタンドは本機に付属のACアダプター以外には使用しないでください。

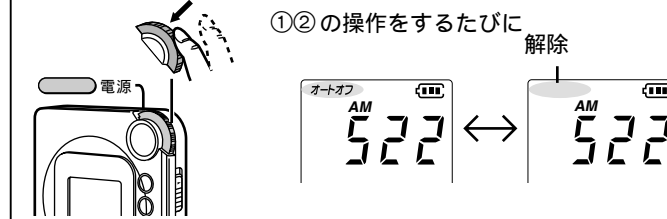
継ぎ足し充電できます
パナソニックの充電式電池なら電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
充電しても持続時間が極端に短いときは充電式電池の寿命です。(充電可能回数は約300回)
充電式電池の買い替えは ニッケル水素充電式電池(HHR-4AH/2B)

90分オートパワーオフ機能について

電源を入れてから約90分後に、自動的に電源が切れる機能です。
電源切り忘れによる電池の無駄な消費を防ぎます。
(ご購入時にはこの機能が働くように設定されています。)
電源が切れたあと続けてお使いになりたい場合は、もう一度電源を入れてください。

90分以上続けてお使いになりたいときは(機能を解除するには)
①(電源が入っているときは) 電源 を押して電源を切る。

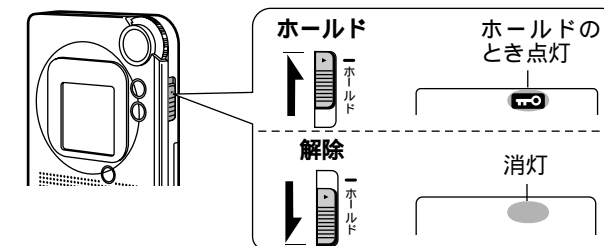
② を押しながら 電源 を押す。



ホールド機能

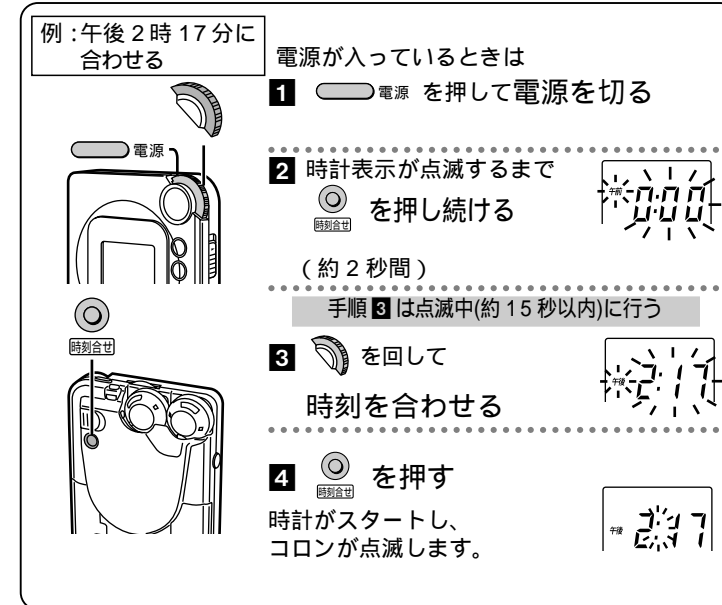
誤って操作ボタンが押されても、受け付けないようにする機能です。

次のようなことを防ぎます。
知らないうちに電源が入る。(電池が消耗する)
受信していた放送局が変わってしまう。



時計を合わせる

12時間表示です。(「午前0:00」は深夜、「午後0:00」は正午を表します。)
時計の精度には若干の誤差があるため、定期的な時刻補正をおすすめします。



ラジオを聞く

本機には3とおりの聞き方(選局モード)があります。

- マニュアル** モード：直接周波数を合わせて聞くととき。
- エリア** モード：全国41地域とJR新幹線*で聞ける放送局を、地域(エリア)ごとに記憶しています。エリア番号(本体後面に記載)を選ぶだけで簡単に選局できます。
- マイバンク** モード：お好みの放送局を記憶させて聞くととき。(※8ページ)

選局モードを切り換える

選局モードは、**マニュアル** モードと東京圏の **エリア** モードに初期設定されています。
東京圏以外の **エリア** モードで聞くとときはエリア番号の設定が、**マイバンク** モードで聞くとときは **マイバンク** モードの設定が必要です。

1 電源 を押して電源を入れる

2 メモリー 選局モード を押すたびに以下のように表示が変わります。

マニュアル 画面
(マニュアル) モードで聞くことができます。(※6～7ページ)
表示なし

エリア **マイバンク** 画面
エリア **マイバンク** モードのいずれかが表示されます。

モード設定画面
エリア **マイバンク** モードの設定を行います。

表示が点滅中に回すと右のように表示が変わります。

エリア モードに設定するには
地域のエリア番号(1～42、本体後面に記載)に合わせる。

1 モード設定画面で表示が点滅中に回してエリア番号を選ぶ

2 メモリー 選局モード を押す、あるいは5秒待つ
エリア モードで聞くことができます。(※6～7ページ)

マイバンク モードに設定するには
“001” **FM**、“002” **FM** のいずれかを選ぶ。(それぞれ18局ずつ記憶させることができます)

1 モード設定画面で表示が点滅中に回して“001”あるいは“002”を選ぶ

2 メモリー 選局モード を押す、あるいは5秒待つ
マイバンク モードで聞くことができます。(※8ページ)

*車内FM放送サービスは、一部の車両を除く新型車両で実施されています。(詳細はJRに確認してください。)

お知らせ

本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFMが混信することがあります。

まず聞いてみましょう (マニュアルモード エリアモード) 「マイバンク機能を使う」(※8ページ)をお読みください

操作がわからなくなったら 電源 を押して電源を切り、「選局モードを切り換える」(※5ページ)に戻ってください。

準備1 インサイドホンを引き出す
「インサイドホンの使い方」(※下記参照)

準備2 電源を入れる
「切」時計表示
「入」周波数表示

1 何回か押して選局モードを選ぶ(※5ページ)

2 ① 押してバンドを選ぶ
以下のように表示が変わります
AM → FM
↑ TV ↓
AMとテレビの音声はモノラルになります。

② 回して放送局を選ぶ
周波数が変わります。メモリー番号とともに、周波数が変わります。

音量を調節する
音量 「小」 「大」

使用後は電源を切る

インサイドホンの使い方

引き出す
[L] (左耳用) [R] (右耳用) 両インサイドホンの下部を持ちながら、引き出す。
インサイドホンコードの根元付近に黄色いマークが見えたらそれ以上引っ張らないでください。

収納する
(スライダーを戻した後) 両インサイドホンコードを持ちながら、[巻取り]をスライドさせる。途中で止まったときは、10cmほど引き出してから、もう一度巻き取ってください。勢いよく巻き取ることがありますのでご注意ください。収納するときは、インサイドホンの向きを合わせて入れてください。

音声出力を切り換える
スピーカー ↔ インサイドホンで聞く

別売りのインサイドホンで聞く

推奨品番 RP-HV150
プラグタイプ：ステレオミニ(M3)
本機のインサイドホンからも音が聞こえます。別売りインサイドホンもアンテナとして働きます。(※7ページ「よりよい受信のために」参照)

よりよい受信のために

アンテナの調整
TV、FM放送
インサイドホンコードをできるだけ伸ばす。(スピーカー使用時もインサイドホンコードを伸ばす)
インサイドホンコードがアンテナとして働きます。

AM放送
本体の向きを調整する。
内蔵のフェライトアンテナが働きます。

雑音が多いときは
電源「入」時に「Nクリアー」が表示されます。高音域が減って雑音が少なくなります。

FMステレオ放送で雑音が多いときは(ステレオ/モノラル切替)
FMステレオ放送受信中に「S」を押す。
モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。通常は「S」を点灯させておいてください。(ステレオ放送はステレオ音声で、モノラル放送はモノラル音声で聞くことができます。)モノラルの状態ではバンド変更、周波数切替、電源OFFなどの操作を行うと、モノラル状態は解除されます。スピーカーで聞いているときは、常にモノラル音声になります。

マイバンク機能を使う

1 好みの放送局を記憶させるには

あらかじめ聞きたい放送局だけを記憶させておくと、簡単に選局できます。FM、AMにそれぞれFM、AM、TV合わせて18局まで記憶させることができます。

1 **マイバンク** モードにする(※5ページ)

2 周波数が点滅するまで を押し続ける(約2秒間)
以下の手順は点滅中(約15秒以内)に行う

3 をポンと押し、バンドを選ぶ
押すたびにバンドが変わります

4 を回して選局する

5 を押す
メモリー番号が点滅します。

6 を回してメモリー番号を選ぶ
10以上のメモリー番号は、10と1～8の両方で選びます。
例：メモリー番号18 10 8

7 を押す

8 手順2～7をくり返して、他の放送局を記憶させる

お知らせ

同じメモリー番号を選ぶと、前に記憶させた放送局は消えます。FMモノラル音声で記憶させることはできません。

2 マイバンクで聞くには

- マイバンク** モードにする。(※5ページ)
- を回して、メモリー番号を選ぶ。
メモリー番号とともに周波数が切り換わります。

記憶させた放送局を削除するには

- 消したい放送局を選ぶ。
 - 周波数が点滅するまで を押しつづける。(約2秒間)
以下の手順は点滅中(15秒以内)に行う
 - を押す。("- - -" が点滅します。)
 - を押す。(放送局が削除されます。)
- 削除したメモリー番号は、飛び越して表示されます。

消した放送局をもう一度使うときは
手順1～7をくり返してもう一度設定しなおす。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

本機について

警告

分解・改造しない
機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。点検や修理は、販売店へご依頼ください。

分解禁止
自動車やバイク、自転車などの運転中は、インサイドホンで使わない
周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。歩行中(特に、踏切や横断歩道)でも周囲の交通に十分注意してください。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。夏の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

インサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ACアダプターについて

警告

プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

コード・プラグを破損するようなことはしない
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

注意

抜き差しは、ACアダプター本体を持つ
コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

付属のACアダプターを使う
指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になります。

充電式電池について

危険

専用の充電器で充電する
指定外の充電器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない
電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

⊕と⊖をショートさせない
電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。チューブをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは絶対に使わないでください。

電池について

注意

電池は正しく取り扱う
⊕と⊖は正しく入れる
長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない
新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
乾電池は充電しない
加熱、分解したり、水、火の中に入れてたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
万一液もれが起これば、販売店にご相談ください。液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

故障かな!?

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
操作ができない。	ホールド状態(" "が点灯)になっていませんか?	4
表示パネルに"U01"表示が出る。	電池が消耗していませんか?	3
受信中、電源が切れる。	「90分オートパワーオフ機能」が働いています。90分以上続けて楽しむときは、この機能を解除してください。	4
受信できない。	現在地のエリア番号を選んでいませんか? アンテナを調整していますか?	5 7
"エリア"表示が出ない。	周波数ステップを"J"表示にしていますか?	10
バンド表示(TV、FM、AM)が切り換わらない。	マニユアル エリア モード をポンと押す。 マイバンク モード バンドの切り換えはできません。	6、7 8
表示パネルに"F56"表示が出る。	充電時間が不十分ではありませんか?(もう一度バッテリーチャージャースタンドに差し込み、充電してください。)十分に充電されている状態で"F56"が表示される場合は本体不良ですので販売店にご相談ください。	—
充電中、表示パネルに"F76"表示が出る。	ただちに充電をやめて電池の向きを確認してください。電池の向きが正しい状態で"F76"が表示される場合は、本体不良ですので販売店にご相談ください。	—

本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。本機を0前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したため、約60分で正常に戻ります。

Operating Instructions

(Refer to the illustration on page 2 for the location of the controls.)

Setting the time

- Press 1 to turn off the power.
- Press and hold 1 until the time display flashes.
- Turn 2 to set the time.
- Press 1 to complete.

To switch between earphones and speaker. Switch 4 to "□" for speaker or "◇" for earphones.

Listening to the radio (TV, AM, FM)

- Pull out the earphones 10.
- Press 1 to turn the unit on.
- Press 2.

The mode changes each time you press the button. Manual: Select by station frequency.

Area ("エリア" displayed): Select a station in an area.

Mode setting (display flashes): Set AREA(2 below)/MY BANK(2 below).

- (AREA or Manual) Press 2 to change the band.
- Turn 2 to select the station.
- Adjust the volume with 2.

Changing the AREA number

AREA numbers contain preset stations for different areas in Japan. See the list on the back of the unit.

- Press 2 to select Mode setting (display flashes).
- Turn 2 to change the area.

Presetting stations in My Bank

Preset 18 stations each in modes 1 and 2.

- Press 2 to select Mode setting (display flashes).
- Turn 2 to select "001" or "002" (wait for the display to stop flashing).
- Press and hold 2 so the frequency flashes.
- Press 2 to change the band.
- Turn 2 to select the frequency.
- Press 2 so the channel flashes.
- Turn 2 to select a channel.
- Press 2 to complete.

Using the Alarm

The alarm sounds at the set time. Preparation: Set the time.

- Press 1 to turn off the power.
- Press 2 so "⊙" goes out if it is on.
- Press and hold 2 until the display starts flashing.
- Turn 2 to set the time.
- Press 2 to complete.

The alarm is now set. Stopping the alarm. Press any button while the alarm is sounding.

Turning the timer off. 1. Press 1 to turn off the power. 2. Press 2 so "⊙" goes out.

Checking the set time. 1. Press 1 to turn off the power. 2. Press 2 so "⊙" goes out. 3. Press 2 so "⊙" comes on.

The display shows the set time for about 2 seconds and then shows the clock again.

Using the radio outside of Japan

- Press 1 to turn the unit on.
- Press and hold 1 so "J" starts flashing.
- Turn 2 while "J" is flashing to select another step.

J: Japan 10: North and South America, parts of South East Asia

9: South East Asia and Europe

- Press and hold 1 so the flashing display changes to the minimum AM frequency.

The AM step and FM range change and all preset channels are erased (except for AREA).

Auto off. Turns the set off after 90 minutes.

- Press 1 to turn the unit off.
- While pressing 2, press 1 to display "オートオフ".

Repeat to turn off. Reducing noise. Press 2 to display "Nクリアー" during reception.

< 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷(ヘ) 本書のご添付がない場合(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。This warranty is valid only in Japan.